

劇団民藝 送り火

言わせて! 今日の芝居 十字劇評 No.42

【三〇代】

▼とても重いストーリーでした。自らの意志で生きられなかった。自らの意志で生きられなかった女性。兄の霊に「物語を書け。お前にはできる」と言われた場面で、彼女の人生に一筋の光を感じました。

(女性)

【五〇代】

▼①後方の席で役者さんの顔も見えない程でしたが、日色さんがおばあちゃんだった

かと思えば娘さんになったり保育士になったり少女になったり。澄み切った声で心に響くとても印象的な体験でした。

②大好きなカスピアン王子からの一節など、照が「どこかよそに行く物語」を夢に見た心支えにしながら、小さな世界で懸命に生きた長い時間を感じながら鑑賞しました。北海道よりも厳しい古い地域の慣習の中で多くのしがらみと抑圧の中で生きた照を、最後にお兄さんが来てくれたこととほんとに慰められました。

(女性)

【六〇代】

▼痴呆か幻覚かわからないが、亡くなった大事な人に会えるのはアリかも。照が選んだ一冊は、心の自由と冒険、「どこかよそへ行く話」。これがあれば踏み出せるよね。
▼年老いて、自宅を去る照さんの人生に、感動しました。

(男性)

最後の夜に昔の恋人や兵役から逃げた兄の「ゆうれい」と語り合い、過去の人生の整理ができた。それは新しい道へ出る力になったようです。

(女性)

▼しみじみと、静かに観劇、途中で、どうなるのかなの、不安な言動、最後の展開にホッとする。心みだれる日が多いこの頃、どうあらがうのかと、スマホ見ながら思う。

(女性)

▼慎ましく暮らす老女。戦中、心中した亡兄への思慕と恨み、戦争を生きた各の見えぬ深い傷跡。芝居の存在意義。
▼「父と暮せば」が例会候補で、兄登場で「おおっ！これは」。火の玉が去るラストシーンくどくなく良かった。若い世代が見て欲しい作品だ！「父と暮せば」観たい！
▼「送り火」を観て、二十二年前の自分、八月十三日には主人の着る物をすべて用意し、

(男性)

今は忘れっぽい一人暮らしの自分を当てはめてしまいましたが。

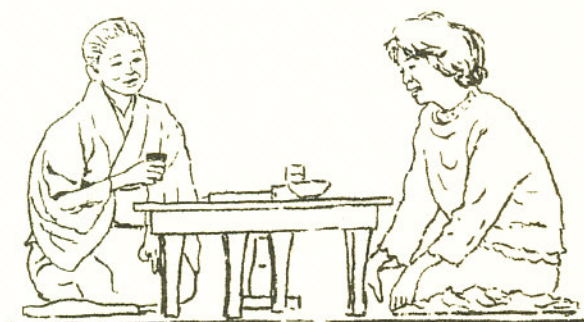
(女性)

▼終演後の舞台挨拶の中で、今日で千秋楽を迎えることが出来たと聞き、この現状の中で本当に良かったと思えました。

(女性)

▼子供の頃、読みそびれていた『ナルニア国ものがたり』を買いに走りました。照ちゃんとお友達になれそう。

(女性)





▼照が独り暮らしになる、ならざるを得なかった事に感じ
る不条理。戦争。一人では抗
いきれない国の力、社会の雰
囲気。兄との出会いの場面が
秀逸であった。照の胸の奥に
つまっていた思いの発露。兄
の本当の思いを知り、「ようや
く新盆ができる」という言葉
が切ない。でも兄と会えたこ
とで照の残された人生へのほ
のかな望みが見えたように思
う。何かを始めることに遅い
ことはない。あらためて自分
に問いかける。どう生きてい
くのかと・・・
(男性)

▼芝居全体から感じる静謐な
佇まいが、何とも言えず素晴
らしかった。日色さんの四国
ことばのせりふの鮮明さと美
しさに感動。日色さんはじめ
出演者全員のしつかりした演
技も良かった。戦争の記憶が
どんどん風化していく中で、
戦争に人生を翻弄された人々
を描くことの意味をあらため
て感じた。この作品は、主人
公の照が絶望で終わるのでは
なく、今まで背負ってきた重
荷をおろし、わずかではある
が次の希望へ向かって一歩踏
み出すところで終わるのが良
かった。そして、その一歩を
踏み出すのに遅すぎることは
ない、まだ時間はある、とい
うメッセージに共感できる。
(男性)

【七〇代】

▼数年後数十年後の自分に重
ねてお芝居を観ました。ケア
ハウスに行っても、絵本作家

になる事に希望を見いだした
照さん。私は、どんな風にな
るのかな？
(女性)

▼不安を抱える照の姿に重なる
ことがたくさんあった(一人
人暮らし、施設入所、認知症)
が、兄圭介との会話の中で「童
話」という言葉がふと出た瞬
間、「希望」を持って生きて行
くことを教えられた。送り火
の灯りがともったかのように。
(女性)

▼緞帳が上がり、まっさきに
目に入ったのは丸い卓袱台
(テーブル)懐かしく劇中も見
ていました。たんたんとした
静かな芝居の中で、方言の苦
手な私が、後半の兄妹で過去
を振り返り話している場面あ
たりから「送り火」を焚いて
くれるかとお兄さんのことば
の時には涙がいつしか出てい
ました。
(女性)

▼私は今でも隣組のこわさを
感じます。うわさ話が好きで、

親切心のようなおせっかいの
ような。賢治の詩が出てきて
ホッとしました。
(女性)

【年代・性別不明】

▼今年初です。自分も老いて
きたので身につまされる話で
すが、誰もが通る道、何度も
涙が出てやさしさを感じまし
た。日色さんの人柄かな？

編集スタッフから

劇評集を読んだり、感想会
に参加して、いつも思うこと
があります。それは、例会の
芝居を観ただけで終わらせる
のではなく、振り返ってみる
ことが大切だということです。
観終わった芝居の感想を、自
分なりに整理してみる。その
ためにも、劇評集への投稿を
お願いします。